

## 中小企業振興ビジョン実現のための3つの柱

### 1：経営革新の促進、経営マネジメントの強化（経営革新グループ）

#### 中小企業経営者が経営の基本を学ぶ場の開設

- 財務指標や労働法規など経営者として必要なことを学ぶ場をつくる。
- 経営指針（理念・ビジョン・方針・計画）の策定を推進し学ぶ場をつくる。
- マーケティングを学ぶ場をつくり戦略に活かす。
- 「カーボンニュートラル」や「SDGs」を学び自社経営に活かす。

中小企業や小規模事業者の事業の継続及び発展には、経営の改善、向上を図ることが必要である。また、販路拡大や資金調達、経営者の高齢化等に伴い、事業承継や技能の承継等が課題である。

#### 取り組み（中小企業団体・稲沢市・大企業・金融機関）

- 資金調達の円滑化、経営の改善及び向上
- 新たな技術、製品等の開発、販路の開拓
- 事業承継、伝統的技術等の継承
- 農商工連携、産学金官連携
- 地域資源の活用

### 2：人材の確保・育成、多様な働き方の創出（地域人材育成グループ）

#### 地域の若者を育て、地域に若者を残す

- 稲沢市の高校・大学と中小企業と行政が連携して「新しいキャリア教育」を実施する。  
「新しいキャリア教育」を中学校や小学校の段階まで展開する。  
学校教育の段階から地域の経営者が関わりをもち3者が連携して取り組む。
- 経営者自らの生き様をとおして、生きる目的や働くことの意義、地域における中小企業の役割やその魅力などを伝える。
- 起業する意義や喜びなどを伝え起業家精神を養成する。
- 中小企業や小規模事業者が持続的に発展するためには、人材の確保、人材育成は不可欠です。  
人材不足の解消に向けて、女性や高齢者、障害者など多様な人材が活躍できるようにする。

人材の確保、定着のために、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の取組を推進し、働きやすい職場環境の整備が必要とされています。

## 取り組み（教育機関・稲沢市）

- 市内の教育機関との新しいキャリア教育
- 人材確保・就労支援・人材育成
- 女性、高齢者、障害者等の多様な人材活用の推進
- 介護と仕事の両立支援の推進

## 3：地域資源の活用、発掘・地域資源のブランド化（地域資源発掘グループ）

### 特産品の企画・開発や製造、観光資源の磨き上げ

- 地場産品を新たな特産品として売り出すことで、地域産業の創出。  
知名度の低い地場産品を活用・宣伝することで、地域資源のブランド化ができる。
- 地元企業同士の結びつきによる新規事業の創出によって、地域企業の活性化にも繋がる。
- 観光資源の活用では、国内外からの観光客誘致による地域経済の活性化が期待。  
観光客の誘致によって交通整備などの受入環境整備が進んで、環境保全活動が盛んになれば地域住民へのサービス向上というメリットも得られる。
- 地域資源の活用は、他地域には真似ができないような模倣困難性が重要なポイント。  
他地域と差別化を図ることによって、特有の付加価値が生まれ、稲沢を訪れる人が増える。

地域資源の発掘方法として、地域住民参加型のワークショップ開催によるアイデア出しなど地域住民に参画、アイデアを出してもらうことで、多彩な案が寄せられるとともに、地域住民のシビックプライドの醸成にも繋がります。

## 取り組み（稲沢市、観光協会、中小企業団体、教育機関等）

- 空き店舗等の活用促進
- 地域の課題を洗い出し、資源に変える
- 多くの市民を広く巻き込む
- 観光客や移住者の獲得、雇用の創出を維持可能な、サステナブルな仕組みづくり
- 市内の高校・大学との連携